

令和3年度 第2回長浜市交通安全対策会議 要点録

日時 令和3年8月24日（火） 10時00分から10時40分まで
場所 長浜市役所本庁3階 特別会議室
出席者 10人：藤井会長、竹井委員、小久保委員、式部委員、谷口委員、
横田委員、伊藤委員、鶴飼委員、田中委員、前嶋委員
欠席者 1人：北村委員
事務局 市民活躍課：村崎管理監、手崎課長代理、山口係長、村田主事
傍聴人 2人

1 開会

2 会長あいさつ（藤井会長）

3 事務局から報告

7月19日に開催された滋賀県交通安全対策会議にて、第11次滋賀県交通安全計画が策定されたことを報告。（資料1～2）

4 議事（進行：藤井会長）

(1) 第11次長浜市交通安全計画（素案）について

資料3～4に基づき事務局から説明。

<質疑・意見>

委員：生活道路対策エリアの取組を計画に盛り込んでいただいたのはありがたい。「ビッグデータ」という表現については、色々な意味があるので「交通ビッグデータ」と記載した方がわかりやすいのではないかな。

資料4のP12「急ブレーキのビッグデータ」という表現は唐突なので、「急ブレーキなどの自動車の挙動制御にかかる交通ビッグデータ」というような言葉に変えた方がわかりやすいのではないかな。

事務局：修正させていただく。

委員：交通ビッグデータは危険箇所を判明させるだけではなく、交通安全教育や啓発にも使用できるのではないかな。

例えば、通学路交通安全対策プログラムで対策を講じた取組が、その前後のデータで効果検証できるのかということも考えていただきたい。

事務局：交通ビッグデータを通学路対策の効果検証に使用できるのかという件については、生活道路対策エリアでの取組で実証できる。現在、神照エリアを同エリアに指定しており、通学路への道路標示の施工前後での効果検証をしていく取組をすすめているところ。

委員：文言についての修正

「安全・安心な」で文言の統一をした方がよいのではないかな。

資料4のP2「先端技術の積極的活用」が「新技術」等他所で異なる表現があるので文言の統一をした方がよいのではないか。

資料4のP4～5の数値については年で集計されているが、本計画は年度で策定するので合わせられないか。

資料4のP5の文中に割合(%)が記載されているが、表と連動してその根拠数を記載した方がわかりやすいのではないか。

資料4のP4では負傷者数と記載されているが、P5～6では傷者数となっているので文言の統一をした方がよいのではないか。

資料4のP7の2(1)(2)については、長浜市の目標数値なので、目立つように強調した方がよいのではないか。

資料4のP8の1(1)(ア)の「高齢者の特性」という表現は誤解を招く可能性があるので、改めるか説明を加えた方がよいのではないか。

資料4のP11の1(1)について、市だけでは環境を整えられないので、「自治会・学校等と連携して」を加えると市と協働的に行っている取組となるのではないだろうか。

全体として市民にとってわかりやすい計画にしていきたい。

事務局：文言の統一等、ご指摘いただいた部分は反映していく。

計画は年度だが、統計は警察が年でとっているので、一致しない旨はご了承いただきたい。

委員：「高齢者の特性」という表現について、「バランス力の低下」「筋力の低下」「視野が狭くなる」といった説明をつけ加えればイメージがわくのではないか。

しょうがい者や高齢者への施策を示した計画の中にも交通安全についての記載をしているが、本計画はハード面とソフト面の両方が盛り込まれているのでよいと思う。交通ビッグデータに基づく啓発活動ができればよりよい効果がでるものと思う。

事務局：「高齢者の特性」はわかりやすい表現に変えていく。

(2) パブリックコメント実施要領(案)について

資料5に基づき事務局から説明。

<質疑・意見なし>

5 その他

第3回長浜市交通安全対策会議 12月2日(木) 10:00～開催

パブリックコメントの結果次第では書面開催の場合あり

委員：子ども・高齢者の安全確保、横断歩行者の安全確保について全て網羅した計画案としていただきありがとうございます。